

登録コード	SF703200	開講年度	2026				
授業題目	アドバンス演習・実験・実習					担当教員	浦井 暖史
英文授業名	Advanced Exercise for Environmental Science					副担当	
単位数	1	講義期間	後期	曜日・時限	集中・不定期	対象学年	2年
講義室			授業形態	実習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生						
(3)全学横断特別教育プログラム	環境マインド実践人材養成コース						
(4)授業の概要	地形・地質学，気象学，動・植生生態学，湖沼学，湖沼生態学などの調査や実験，実習などを通して，物質循環学のさまざまな側面を体験して，各種の調査・研究能力の習得を図る．						
(5)授業のキーワード	能動的学修，物質循環学，野外調査，科学リテラシー						
(6)授業計画	1) ガイダンス：実習の目標，進め方，日程などについての紹介 2) 授業計画の提示 後学期間中に受講者間で日程を調整して実施する．また、土日を利用した調査を行う予定である．						
(7)成績評価の方法	実習および調査の内容、理解度と目標に対する到達度を，おもにレポートの内容および実習への取り組み態度で測り，成績を評価する．得点の比率が60％未満で不合格，60～70％で可，70～80％で良，80～90％で優，90％以上で秀と評価する．						
(8)成績評価の基準	各実習の目標に対する到達度を総合的に評価する．目標に対して，十分に達成できている場合から最低限の基準（60％以下）に達しない場合までであることになる．						
(9)事前事後学習の内容	実習の前に事前学習会をもち，課題と予習すべき内容を明示する．実習終了後は，成果と課題を議論し，不十分な部分について補修を行い，レポートへ反映させる．						
(10)履修上の注意	実習内容は年度で異なる．掲示に注意して，興味を持った実権・実習を受講すること． 移動手段や危険性によって参加可能人数に制約があるので（定員は5-6名以下であることが多い）早めに申し込むこと．						
(11)質問,相談への対応	各担当者が，直接あるいは電子メールで随時受け付けます． 2026年度履修希望者は，登録時に浦井にe-mail（uraia@shinshu-u.ac.jp）でその旨を連絡してください．						
【教科書】	資料を配付する．必須の教科書がある場合には事前に紹介し，購入を求める．						
【参考書】	参加者へ必要となる文献を紹介する．						